

三次救急病院における AKI 患者の HAD 発生率および関連因子の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

急性腎障害(AKI)は、腎臓の機能が急速に悪化し、尿による老廃物の排出ができなくなり、重症化すると命に関わる病気です。急性腎障害には市中で発症し、入院に至る院外発症 AKI と、集中治療室(ICU)などで発症する院内発症 AKI があります。院外発症 AKI は院内発症 AKI と同様に、急性期の治療終了後も腎代替療法など永続的な治療が必要となる場合があります、迅速な治療が重要となります。

また、入院中に新たな日常生活動作(ADL)低下を呈する入院関連機能障害(HAD)は、高齢入院患者さんの約3分の1に認められ、ご本人の身体機能の低下だけでなく、長期的な介護の必要性、更には死亡率や再入院率の上昇といった、医療・介護の両面に深刻な影響を及ぼします。

このような背景を受け、三次救急病院である当院でもセラピストを各病棟に配置し、看護師と連携しながら入院直後から身体機能の維持・向上を目指した介入を行い、ADL 低下予防に積極的に取り組んでいます。

今回、AKI で入院した患者さんの診療記録を収集し、HAD の発生率や関連する因子を明らかにすることを目的として研究を実施致します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2020 年 4 月～2025 年 9 月に当院に AKI で入院し、リハビリテーション介入があった方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、急性腎不全のステージ(KDIGO 分類)、介護保険の有無、転帰など
使用開始予定日：2025 年 10 月 29 日

研究予定期間

2025 年 10 月 29 日～2026 年 3 月 14 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 仁田脇宣男

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 仁田脇宣男

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)